

G.C.I

ニュース

岐阜県セラミックス研究所

TEL:0572-22-5381 FAX:0572-25-1163

情報 No.29

陶磁器製品の鉛・カドミウムの溶出基準が強化

厚生労働省は、平成 20 年 7 月 31 日に、厚生労働省告示第 416 号により、食品、添加物等の規格基準の一部を改正しました。これにより、陶磁器製品等の鉛(Pb)・カドミウム(Cd)の溶出基準が強化されました。改正のポイントは以下のとおりです。

- 1 従来、ガラス・陶磁器・ホウロウ引き製の器具又は容器包装については、これら 3 つの材質に共通の鉛・カドミウムの溶出基準が設定されていましたが、改正により、**材質別に基準値が設定**されました。
- 2 **ISO - 6486 - 2**を参考にして設定されました。
- 3 **深さが 2.5cm 以上で容量が 3ℓ以上の区分、及び加熱調理用器具の区分が新たに設定**されました。

以上のポイントを従来の基準値と比較すると以下のとおりになります。

従来のガラス製、陶磁器製またはホウロウ引きの器具又は容器包装の基準値

新たな陶磁器製の器具又は容器包装の基準値

深さ 2.5cm 以上、容量 1.1ℓ未満 Pb : 5 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 0.5 $\mu\text{g}/\text{ml}$	→ 深さ 2.5cm 以上、容量 1.1ℓ未満 Pb : 2 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 0.5 $\mu\text{g}/\text{ml}$
深さ 2.5cm 以上、容量 1.1ℓ以上 Pb : 2.5 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 0.25 $\mu\text{g}/\text{ml}$	→ 深さ 2.5cm 以上、容量 1.1ℓ以上 3ℓ未満 Pb : 1 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 0.25 $\mu\text{g}/\text{ml}$
深さ 2.5cm 未満 Pb : 17 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 1.7 $\mu\text{g}/\text{ml}$	→ 深さ 2.5cm 以上、容量 3ℓ以上 Pb : 0.5 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 0.25 $\mu\text{g}/\text{ml}$
	→ 深さ 2.5cm 未満 Pb : 8 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 0.7 $\mu\text{g}/\text{ml}$
	加熱調理用器具 (新設) Pb : 0.5 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 、 Cd : 0.05 $\mu\text{g}/\text{ml}$

「加熱調理用器具」とは、加熱して使用することを目的として製造されたもの(鍋、グラタン皿など)又は加熱調理用、直火用、オーブン用、電子レンジ用等と明示されたものであって、概ね 100 を超えて調理を目的に使用されるものをいう。

ガラス製及びホウロウ引きの器具又は容器包装の新基準について、お知りになりたい方はお問い合わせください。

ただし、**平成 21 年 7 月 31 日までに製造、又は輸入されたものについては、従来の基準値**によることができます。

研究紹介

平成20年度より、文部科学省事業「都市エリア産学官連携促進事業」、「知的クラスター創成事業」の採択を受け、研究所では以下の研究開発を実施します。

「都市エリア産学官連携促進事業」

[事業目的]

大学・研究機関の保有するセラミックスの多孔化、機能性無機粒子作製、触媒、リサイクル等の環境負荷低減に関する優れた技術シーズと企業が有する技術を融合させ、今後の発展が期待されている「環境調和型の陶磁器・ファインセラミックス新産業」の創出を目指す。

[研究テーマ]

1. ゲルキャスト法による新しいセラミックスの開発
2. 光対応型の無機ナノ粒子の開発
3. 次世代の環境浄化セラミックスの開発
4. 環境調和型陶磁器の開発

当研究所が分担するテーマ

湿式合成法による紫外線吸収無機ナノ粒子の開発

主にマイクロ波水熱合成を用い、化粧品等の無機ナノ粒子の作製技術に関する研究開発を行う。合成する粒子の形態や紫外や可視域の吸収・反射などの機能を制御したナノ粒子を開発する。

環境負荷低減型陶磁器食器の開発

廃食器粉砕物を高配合(50%以上)した素地の低温焼成技術の確立及び新しい軽量強化磁器食器の製造技術の確立を目指す。

「知的クラスター創成事業」

[事業目的]

愛知県・岐阜県・三重県において自動車、工作機械、航空機産業の裾野を支えている中堅・中小企業が有する部材製造・加工技術を、先進テクノロジーの活力により底上げする「東海地域ナノテクものづくりクラスター」の形成を目指す。

[研究テーマ]

1. 先進プラズマナノ基盤技術の開発
2. 表面機能化による先進ナノ部材の開発
3. 高効率光・パワーデバイス部材の開発
4. 界面制御ナノコンポジット部材の開発

当研究所が分担するテーマ

ナノ加工用機能性砥石の開発

遠心力混合粉末鑄造法を用い、カーボン系樹脂切断用砥石の開発を行う。砥石の無駄を省き、さらに切れ味を向上させることにより、次世代航空機・自動車用部品切削工具の低コスト化が期待できる。

アルミニウム鑄造用部材の開発

高強度なチタン酸アルミニウムダイカストに有用な部材を開発する。

お知らせ

県では、産学官が連携して取り組むべき課題を抽出するため、昨年度から「1000社インタビュー」を実施して企業ニーズを的確に把握し、県民の目線に立った研究開発の推進に努めています。この制度では、研究員が直接、企業に出向き、当所の研究内容等を説明しながら、企業で問題となっている技術的課題についてご要望をお聞きします。いつでも訪問しますので、ご連絡ください。

また、研究所では陶磁器に関する技術相談などを随時受け付けています。電話や来所していただく以外にも、メール(下記)でもご利用頂けます。お気軽にご相談ください。

岐阜県セラミックス研究所情報紙 G.C.I ニュースNo. 29

発行：岐阜県セラミックス研究所 〒507-0811 多治見市星ヶ台3-11

電話 0572-22-5381 ファクシミリ 0572-25-1163

電子メール info@ceram.rd.pref.gifu.jp <http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/ceram/>